



風しんの流行継続中！ 抗体もっていますか？

令和元年 11 月 13 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年第 45 週分・11 月 4 日～11 月 10 日)

《 インフォメーション 》

●風しん(ふうしん)

2018 年の夏以降、関東を中心に風しん患者数が急増し、同年の全国における患者報告数は 2,917 件と、2017 年の報告数(91 件)を大きく超えています(右表)。今年では全国では 10 月末までに 2,256 件報告されていますが 10 月以降は減少傾向です。県内では、2018 年に 11 件、2019 年に 4 件の報告がありました(表参照)。

風しんは、風しんウイルスを原因とする感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫(唾液のしぶき)などによって感染します。潜伏期間は 2～3 週間で、主な症状として発熱、発疹、リンパ節の腫れが認められます。妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどの症状(先天性風しん症候群: CRS)が生じることがあります。2019 年に CRS 症例は 4 例報告されています。

風しんおよび CRS は、ワクチンで予防することができます。妊娠を希望される方は、あらかじめ予防接種で風しんに対する免疫を付けておくことが重要です。**妊娠中は風しんワクチン(生ワクチン)の接種が受けられないため、周囲の人が予防接種で免疫を付けて、妊婦を風しんの感染から守ることも大切です。**また、風しん患者は 30～50 代の男性に多く、この年代の男性は抗体保有率が低いことが報告されています。厚生労働省は 2019～21 年度にかけて、定期予防接種を受ける機会がなかった**昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性を対象に、原則無料で抗体検査および予防接種を行うことを発表しました。**対象の方は積極的に抗体検査を受け、風しん、CRS が無い社会を目指しましょう。

風しん患者報告数

年	全国	富山県
2014	319	1
2015	163	1
2016	126	0
2017	91	0
2018	2,917	11
2019*	2,256	4

*第 44 週までの報告数

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 4 件 (①20 歳代、女性 ②30 歳代、男性 ③60 歳代、男性 ④80 歳代、男性)
- 三類感染症 細菌性赤痢 1 件 (20 歳代、女性、*S. sonnei*, D 群)
- 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (第 44 週診断分: 20 歳代、女性、O 型不明、VT2)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (第 44 週診断分: 90 歳代、女性、G 群)
- 百日咳 2 件 (①10 歳未満、女性 ②10 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	3.07 (↓)	3.83
2 位	手足口病	2.38 (↓)	2.79
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.52 (→)	1.52
4 位	ヘルパンギーナ	0.97 (↓)	1.90
5 位	R S ウイルス感染症	0.72 (↓)	1.10
6 位	インフルエンザ	0.48 (↑)	0.46

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第45週 令和元年11月4日～令和元年11月10日）

分類	疾患	今週報告分（第45週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	2		1	4	23	13	52	27	49	164
三類感染症	細菌性赤痢					1	1		1			1	2
	腸管出血性大腸菌感染症								3	7	6	14	30
四類感染症	E型肝炎							3		2		1	6
	A型肝炎							2					2
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							5		14	11	19	49
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	3	7	13
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	3	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		10	9	10	31
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒							2	1	2	1	17	23
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳				1	1	2	1	5	74	65	98	243
	風しん								1			3	4
	麻しん									1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	1 0.14	2 0.40	4 0.31	14 2.00	2 0.13	23 0.48	1,450	946	3,189	1,737	3,774
RSウイルス感染症			4 1.33	4 0.50	2 0.50	11 1.10	21 0.72	44	77	322	124	471	1,038
咽頭結膜熱		2 0.50	1 0.33			1 0.10	4 0.14	190	23	238	50	204	705
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.25	1 0.33	19 2.38	4 1.00	19 1.90	44 1.52	123	128	711	258	1,133	2,353
感染性胃腸炎		17 4.25	9 3.00	32 4.00	1 0.25	30 3.00	89 3.07	1,194	935	1,510	482	3,420	7,541
水痘				1 0.13	1 0.25	1 0.10	3 0.10	20	22	50	18	257	367
手足口病		2 0.50	19 6.33	12 1.50	5 1.25	31 3.10	69 2.38	238	301	1,118	292	1,549	3,498
伝染性紅斑				2 0.25		9 0.90	11 0.38	123	79	481	127	706	1,516
突発性発しん		2 0.50	2 0.67	4 0.50	1 0.25	3 0.30	12 0.41	35	37	202	44	180	498
ヘルパンギーナ		2 0.50	2 0.67	9 1.13	14 3.50	1 0.10	28 0.97	153	129	379	116	295	1,072
流行性耳下腺炎								4	7	10	1	24	46
急性出血性結膜炎											13		13
流行性角結膜炎				1 0.50		1 0.50	2 0.29	1	10	32	29	11	83
細菌性髄膜炎										1		4	5
無菌性髄膜炎								2	1			1	4
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				1 0.20		7	8		1	16
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1		8	7	2	18
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	1		2	3	5	11	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

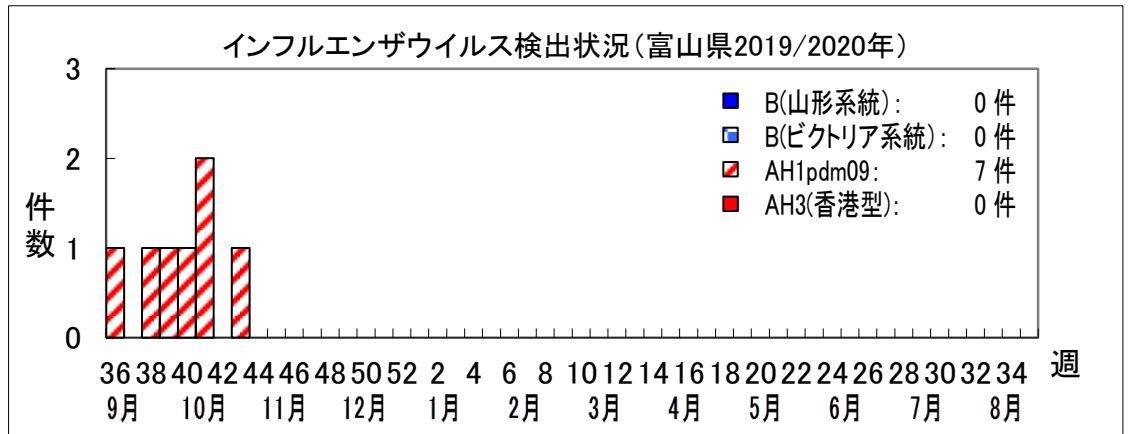
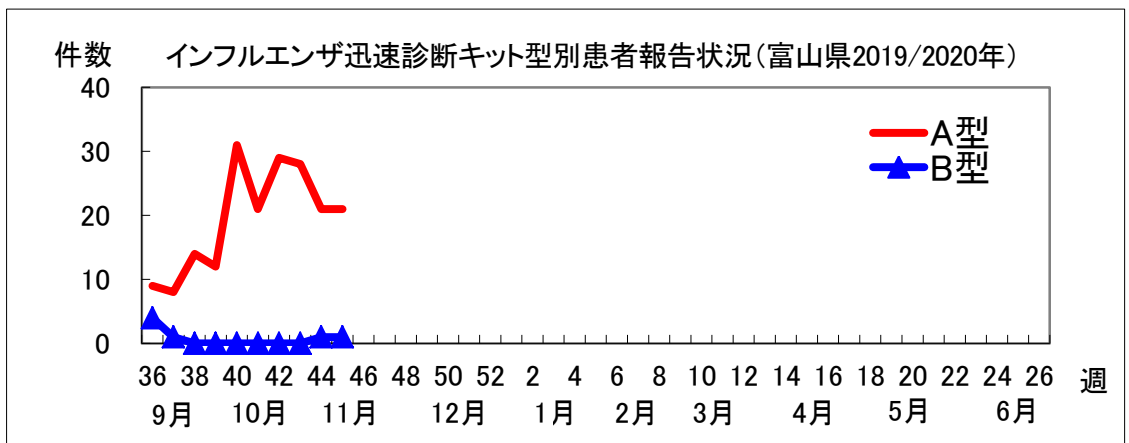
現在、下の表によると、A型が91.3%となっています。

第45週(11/4～11/10)：富山県 0.48人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	0	1	0	1
中部	2 / 5	2	0	0	2
高岡	4 / 13	4	0	0	4
砺波	3 / 7	13	0	1	14
富山市	2 / 16	2	0	0	2
富山県	12 / 48 ^{※1}	21	1	1	23
富山県累計(2019年36週～)		194	7	11	212

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が12か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



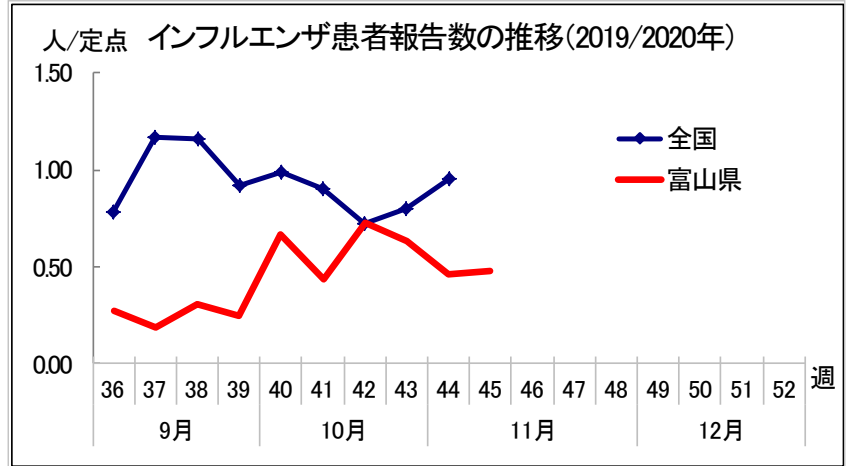


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第45週 (11/4~11/10) : 富山県 0.48 人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (0.40)、高岡 HC (0.31)、砺波 HC (2.00)、富山市 HC (0.13)

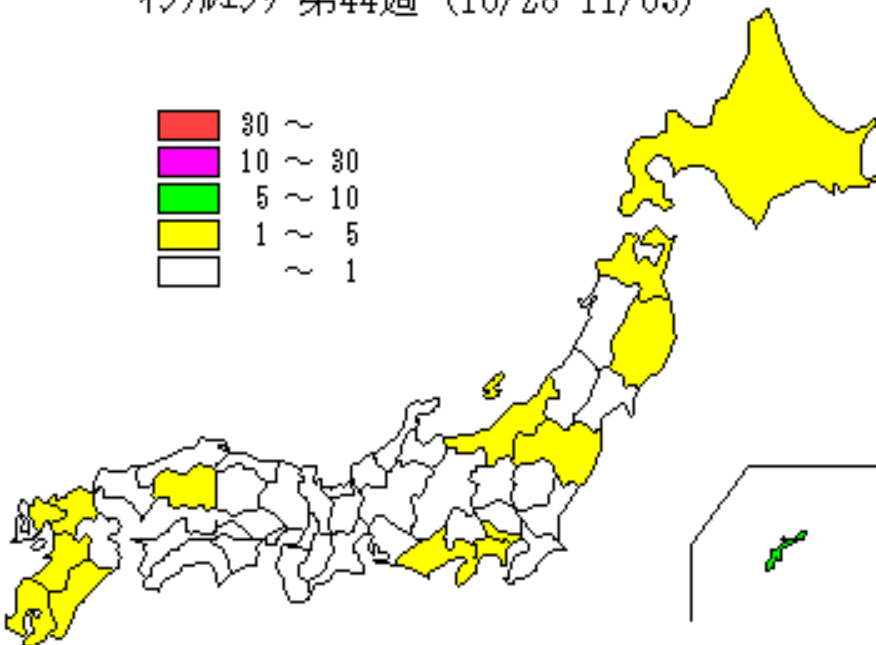
県内のインフルエンザ患者報告数は、先週(0.46)と比べ、増加しました。流行入りの目安である定点医療機関あたり 1.00 人を超えていませんが、全国では報告数が増加傾向となっています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第44週 (10/28~11/3)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.95 人となり、前週の 0.80 人より増加しました。30 都府県で前週より増加しています。16 道県で前週より減少しています。

インフルエンザ第44週 (10/28-11/03)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.76	滋賀県	0.12
青森県	1.58	京都府	0.38
岩手県	1.29	大阪府	0.35
宮城県	0.79	兵庫県	0.24
秋田県	0.19	奈良県	0.35
山形県	0.48	和歌山県	0.14
福島県	1.01	鳥取県	0.07
茨城県	0.68	島根県	0.32
栃木県	0.68	岡山県	0.19
群馬県	0.23	広島県	1.43
埼玉県	0.64	山口県	0.69
千葉県	0.95	徳島県	0.08
東京都	1.12	香川県	0.40
神奈川県	1.21	愛媛県	0.93
新潟県	1.13	高知県	0.17
富山県	0.46	福岡県	2.19
石川県	0.54	佐賀県	1.41
福井県	0.19	長崎県	0.70
山梨県	0.44	熊本県	1.46
長野県	0.40	大分県	0.38
岐阜県	0.26	宮崎県	1.68
静岡県	1.15	鹿児島県	2.71
愛知県	0.58	沖縄県	7.12
三重県	0.23	全国	0.95

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年10月分）

		10月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		11	13	2	3	17		83	105
				0.67		2.75	1.30						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1			7	8		8	9	6	38	61
			1.00			1.75	0.80						
	尖圭コンジローマ			1		5	6			6	8	16	30
				0.33		1.25	0.60						
	淋菌感染症					3	3	5		2		18	25
						0.75	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	2	2	3	9	10	22	28	21	45	126
			2.00	2.00	2.00	3.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	2		12	7	5	26
				1.00			0.20						
	薬剤耐性緑膿菌感染症											1	1

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。